

小児喘息をご理解いただくために

小児喘息とはこんな病気です

小児喘息とは、気道が普通の子供よりも敏感であるために、気道の炎症を悪化させやすく、息が苦しくなる喘息発作を起こしてしまう病気です。発作は慢性的にくり返し起こりますが、予防の治療を続けることで、症状をコントロールすることができる病気です。

風邪や腹痛などと違い、小児喘息は元気なときにも薬を服用することで発作を予防し、健康な子供とまったく同じ生活を送ることができます。

喘息発作とはこんな症状です

- ゼーゼー・ヒューヒューと苦しそうな呼吸をする。
- 肩で息をしている。
- 咳が出る。(咳き込む)
- タンが絡む。水分を摂った後にタンを吐き出す。
- 鎖骨の上やみぞおちのあたりが、呼吸のたびにペコペコしている。



名前 _____ が具合が悪くなる時・悪いときの特徴

喘息の原因はいろいろありますが、子供によって違います

- ダニアレルギー
- ハウスダスト
- 汚れた空気(タバコ・料理の煙など)
- 風邪
- 疲れ
- ストレス
- 過激な運動
- 動物(犬や猫・鳥など)
- 気象条件(寒暖の差・台風や前線による気圧変化)



名前 _____ の喘息の原因

予防の治療が大切です

小児喘息の最も大切なことは、発作が起こってから対処するのではなく、苦しい発作を起こさない予防の治療をおこなうことです。

予防のための治療プランは、かかりつけのお医者さんの継続的な診察によって子供ごとに一番あったものがつくられています。この大切な治療プランによって喘息を治すためには、毎日のお薬をきちんと飲むことがとても重要です。



名前 _____ の治療プランです